

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光物産係
■評価事業名称	北上展勝地さくらまつり事業費補助金(事務局事務含む)			
■評価事業コード	060200 - 039	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	みちのく三大さくら名所である北上展勝地さくらまつりを開催し、大勢の観光誘客を図ることによる地域の賑わいを創出する。展勝地さくらまつり開催に向けての、担当者会議、受入れ団体会議等の打合せのほか、交通規制、道路使用等の許可申請など開催のための準備事務等及びさくらまつり期間中の臨時案内所運営、主催事業実施、受入れ体制の整備など			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上展勝地さくらまつり事業費補助金(事務局事務含む)	北上観光協会		開催期間 4.15~5.6 観光客入込 約42万人 鬼剣舞公演、渡し舟、観光遊覧船及び各種イベントを実施した。 ポスター、プログラムの作成及び送付、会場の設営、関係団体との打合せ・調整は随時開催した。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	4,750	3,979	3,962	3,041	
人件費	6,270	4,745	6,127	4,642	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,020	8,724	10,089	7,683	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	北上展勝地さくらまつりの実施	実施	実施		実施	
03	北上展勝地さくらまつり来場者数	493,408人	505,438人		415,000	駐車場で車の台数、バス台数等を基に算出
04	まつり1日の費用コスト	217千円	234千円		349千円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

05	入込1人当たりコスト	7.93	9.71		18.51	
----	------------	------	------	--	-------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

震災時の落ち込みから回復してきている。

問題点・課題等

天候や開花状況により入込が大きく変化する。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明